

医師の働き方改革

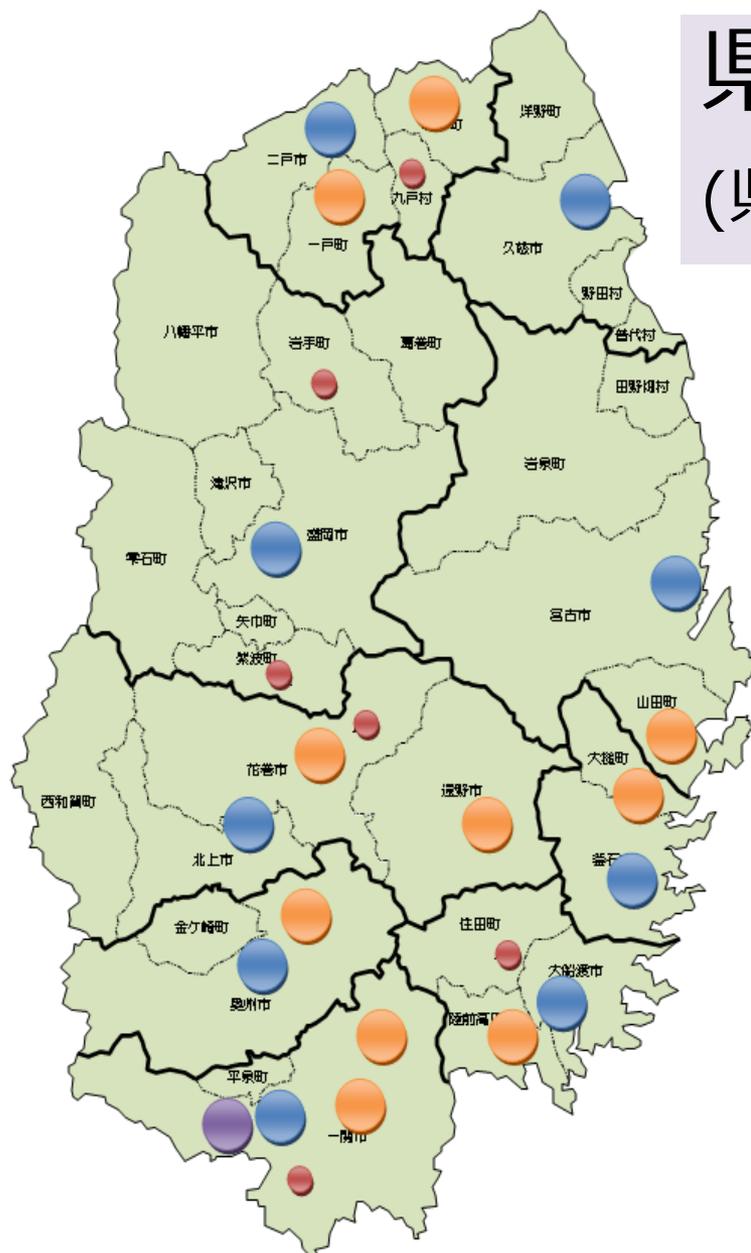
# 岩手県立中央病院の取り組み

岩手県立中央病院

院長 宮田 剛

# 岩手県の特徴

県立病院の数…全国第1位  
(県立20病院、6診療所)

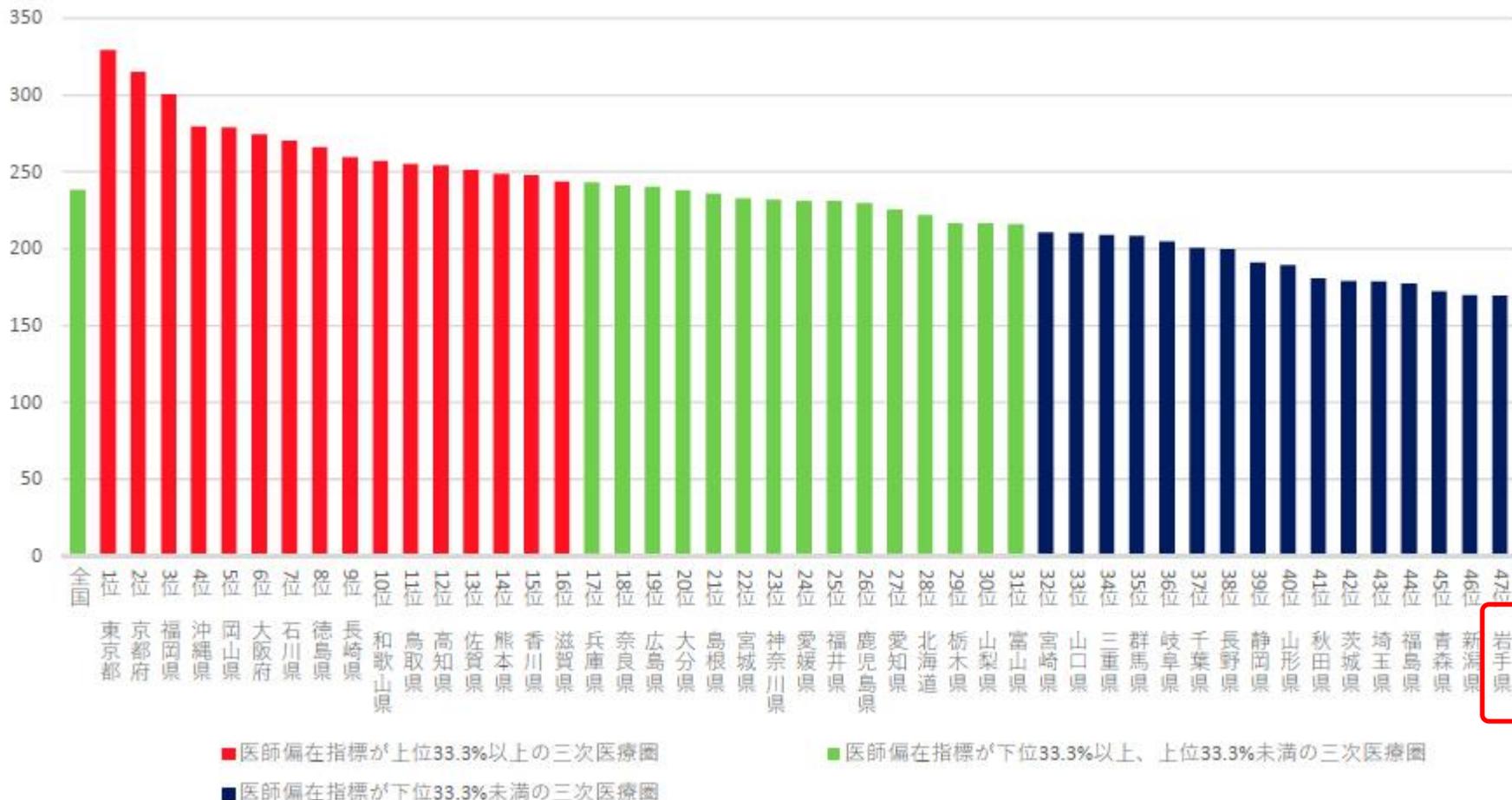


県内の病床数の約3割を占める。  
(稼働ベース5千床弱)

県全体の病院患者のうち、  
入院患者の約26%、  
外来患者の約38%を占める。

- 二次保健医療圏の基幹病院
- 地域病院
- 精神科病院
- 地域診療センター（診療所）

# 医師偏在指標 2019



# 岩手県立中央病院

DPC特定病院群

地域医療支援病院

地域がん診療拠点病院

救命救急センター【令和4年4月指定】

## 【令和4年度実績】

一日平均外来患者数	1,062人	(新患数 100人)
一日平均新入院患者数	42.0人	
平均在院日数	11.5日	
病床利用率	76.6%	
紹介率	68.1%	
(地域医療支援病院紹介率	67.1%)	
( // 逆紹介率	64.9%)	
一日平均救急患者数	49.0人	
一日平均救急車受入れ件数	22.1件	
全麻件数	4,180件	
手術件数	5,196件	
分娩件数	355件	
医業収支	▲ 2億3千万円	

## 【令和5年4月の状況】

病床数 685床

標榜診療科 29科

職員数 1,419名 (うち正規職員数 1,083名)

医師数 216名

(正規136名、専門研修44名(兼務発令者除く)、  
初期研修35名(歯科2名含む)、臨時1名)

看護師数 687名 (うち正規 622名)

医療クランク 58名



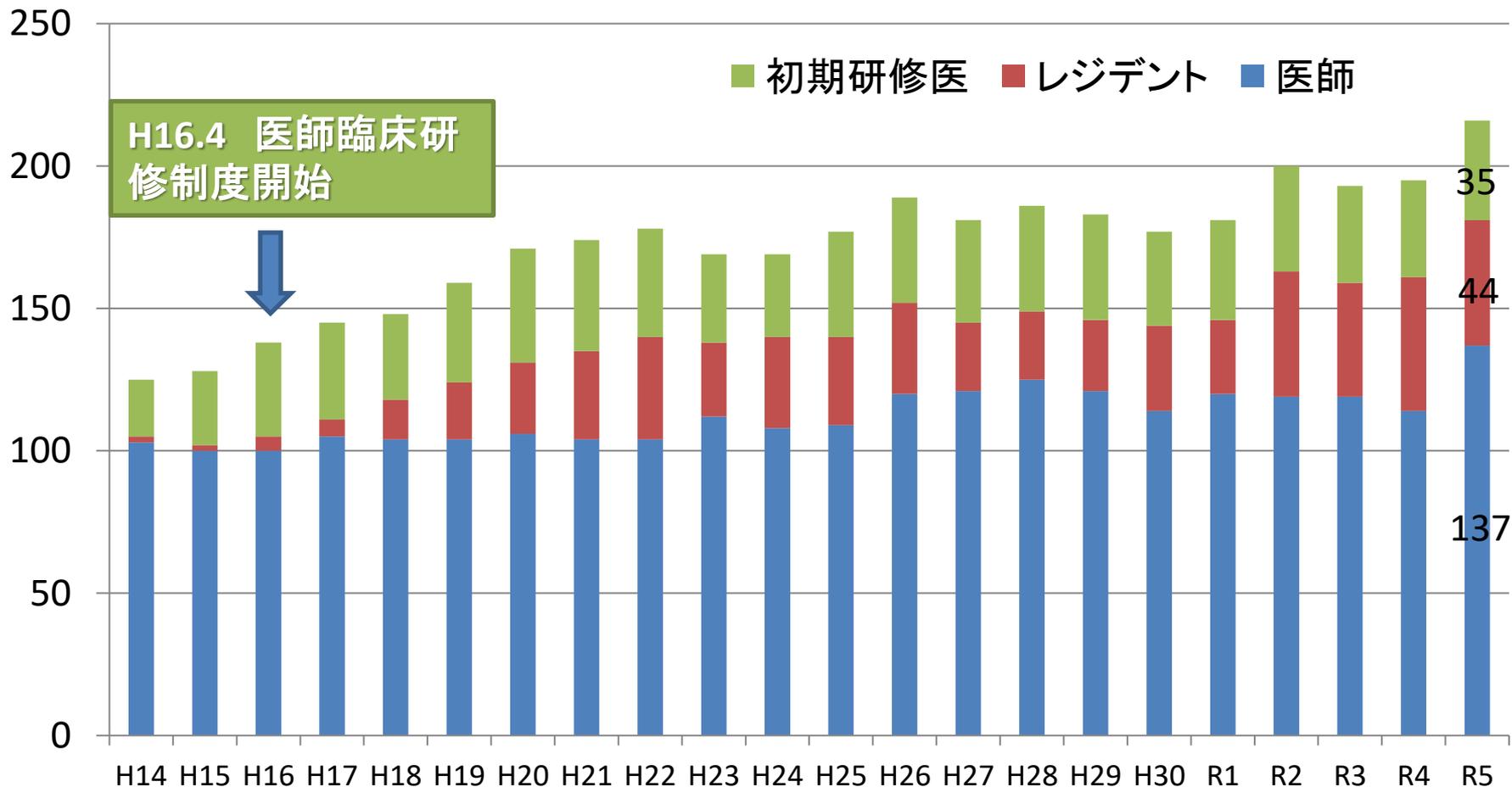
## ■基本理念

高度急性期医療を推進し、県民に信頼される病院

## ■行動指針

1. 良質な医療の提供
2. 次世代医療人の育成
3. 地域医療への貢献
4. 救急医療の充実
5. 災害医療の体制整備
6. 健全で効率的な病院運営
7. 魅力ある職場環境整備

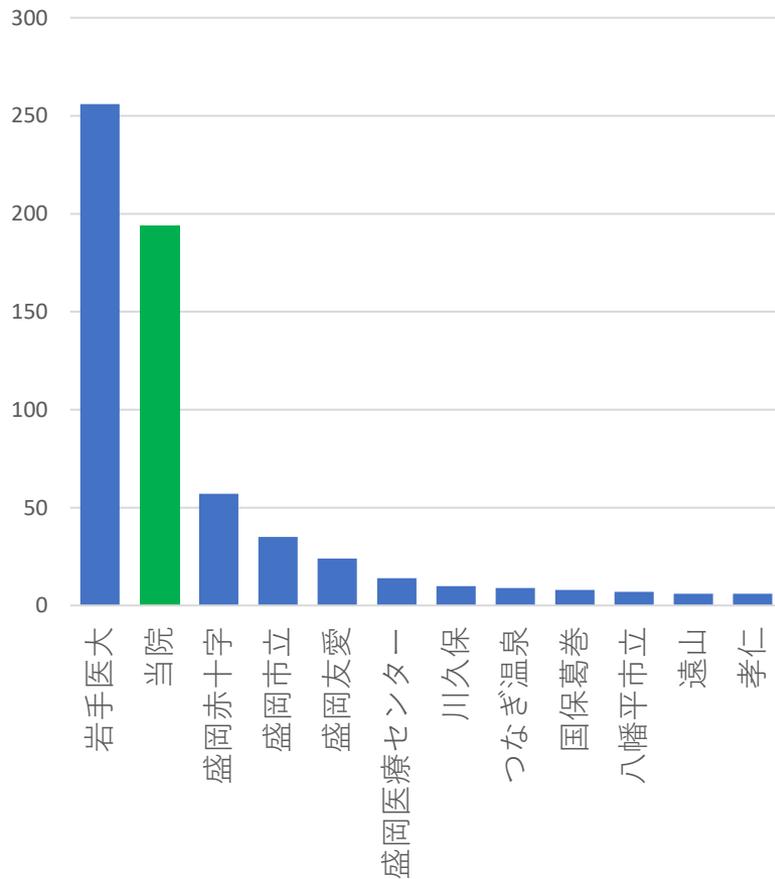
# 岩手県立中央病院 医師数の推移 ※R5.4.1現在



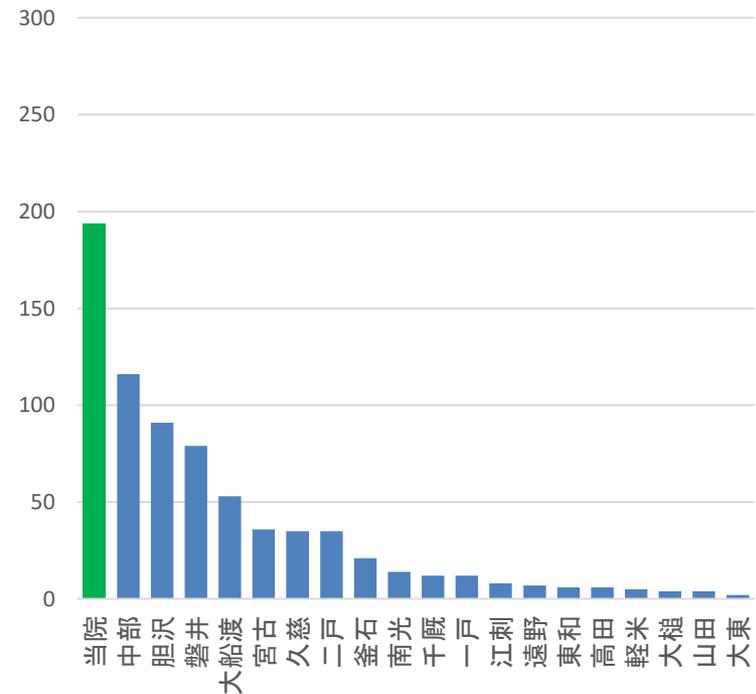
- ・初期研修医⇒歯科研修医2名含む
- ・レジデント⇒兼務発令者を除く

# 岩手県内医療機関 常勤医師数

## 盛岡二次医療圏



## 岩手県立病院群



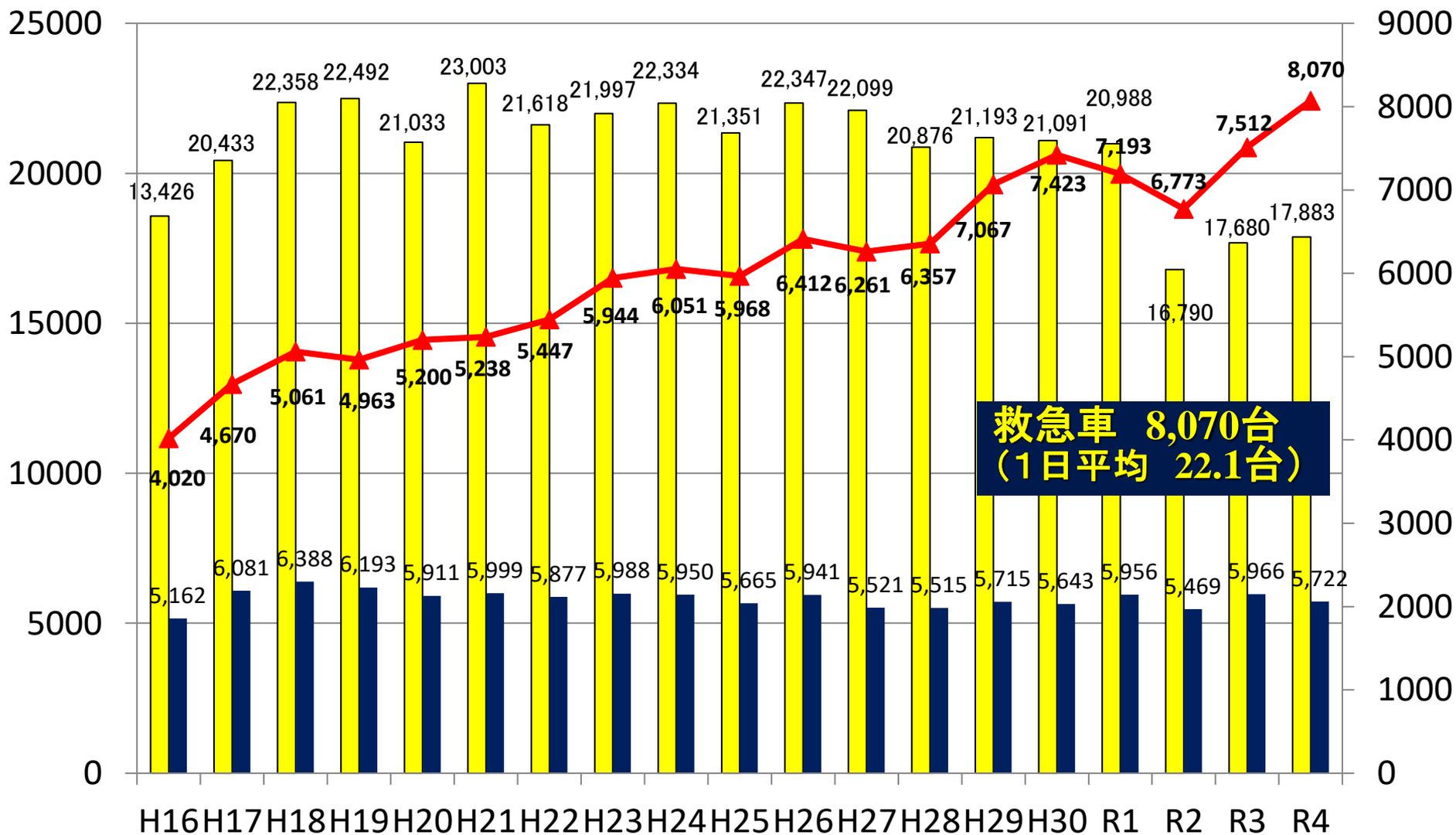
# 救急医療

当直医7名体制（+ ICU、小児輪番）

救急患者数

救急入院数

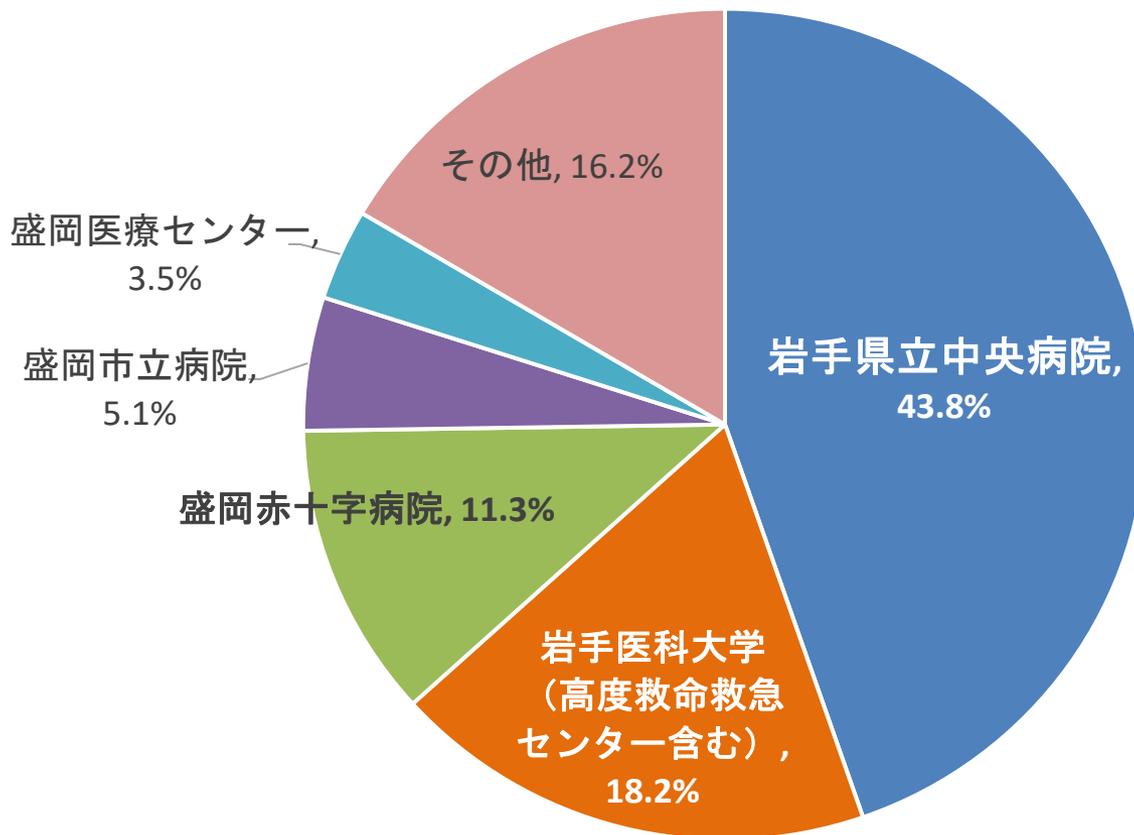
救急車搬入件数



盛岡消防本部統計

# 救急車搬送先内訳

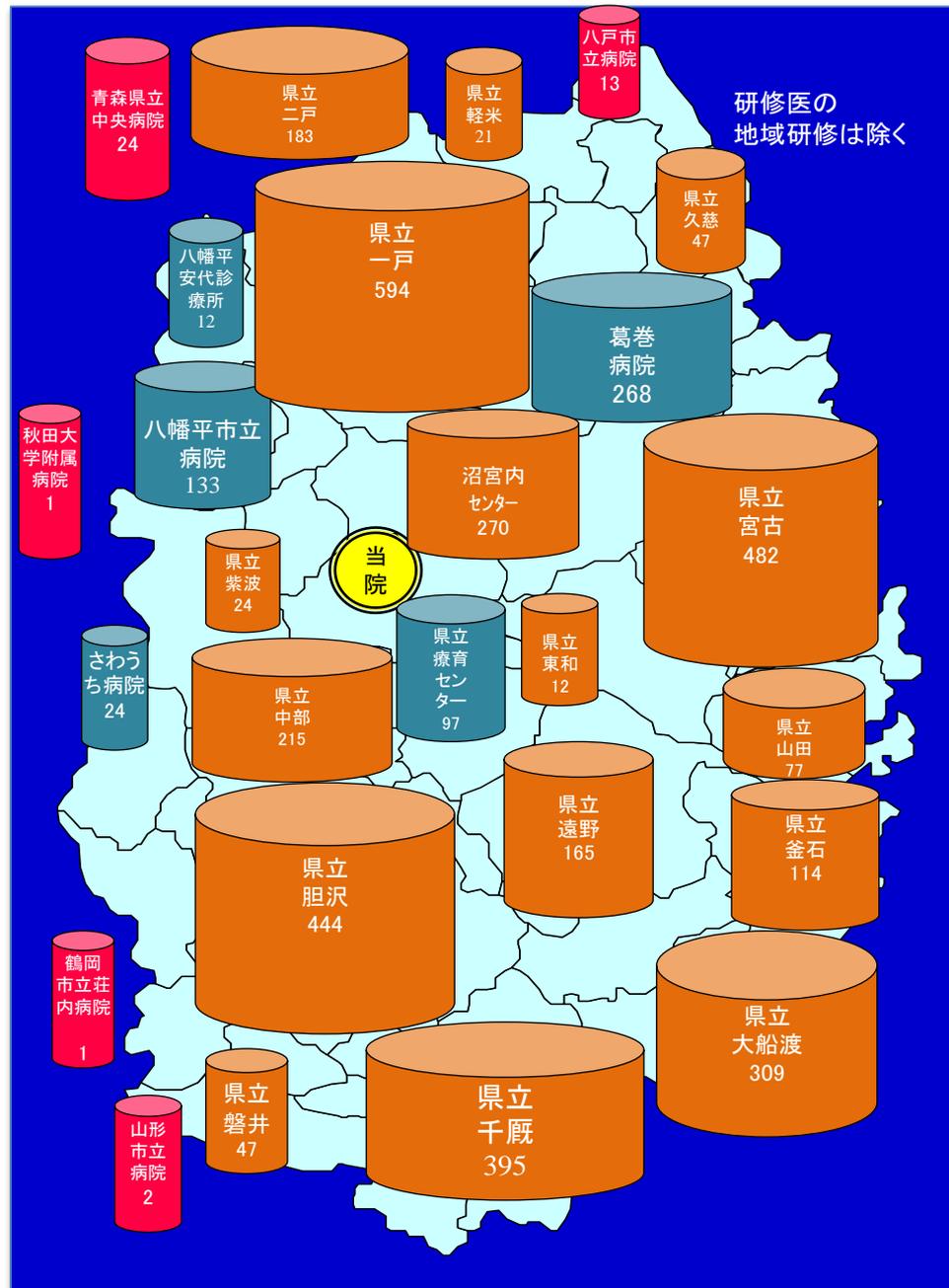
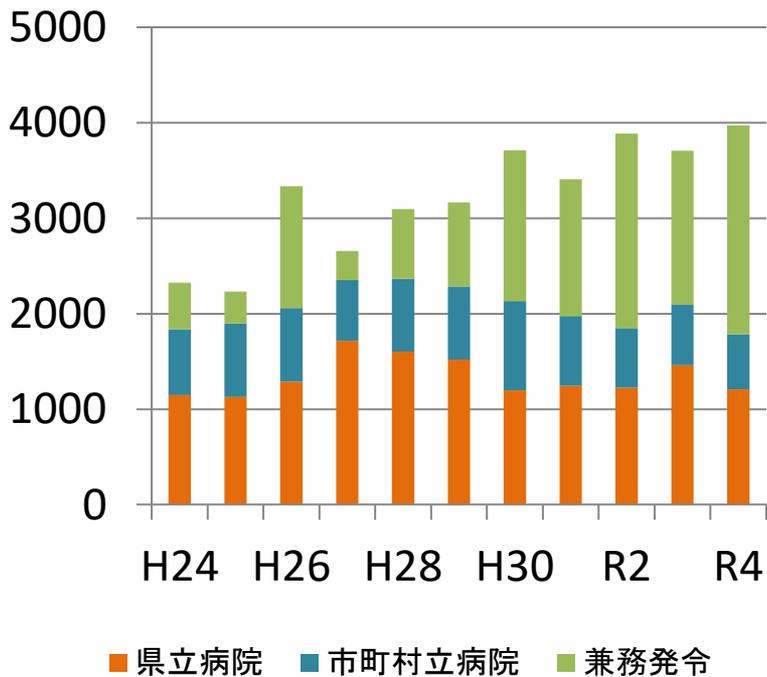
(2021年1月～12月 救急車16,446件/年の搬送)



# 岩手県立中央病院の診療応援 年3,975回（令和4年度）

一日平均約**11**人の医師が不在になる。

## 年度推移



# 協定超える時間外労働

## 県立中央病院に是正勧告

盛岡市の県立中央病院（宮田剛院長）が、適正な手続きを踏まずに労使間の協定（三六協定）を超える時間外労働を職員にさせたなどとして、盛岡労働基準監督署からは是正勧告を受けていたことが7日までに分かった。医師の超過勤務手当が不足しているとの指摘もあり、県立病院の給与制

度の在り方の検討も必要になりそうだ。

た。賃金不払いと超過勤務手当での不足については該当職員を精査し賃金再計算の準備を行っている。衛生工学衛生管理者は確保の目途が立った。

県医療局によると勧告は4月16日付。内容は▽同協定を超えた時間外労働▽同協定を超えた休日労働▽臨床工学技士の待機時間への賃金不払い▽医師の超過勤務手当での不足▽衛生管理者らの選任報告の遅れ▽衛生工学衛生管理者の不配置

の6項目。是正報告の提出期限は20日。同病院によると、協定で定めた上限時間を超える残業を命令する際に病院側が行うべき手続きを取らずに職員に残業させていた。同病院は勧告を受けて手続きを適正化し、職員に出退勤時間を記入させるなど、勤務実態の把握を始め

県医療局労働組合の中野るみ子委員長は「長時間労働や有給休暇が取得できな

# 36協定違反などで是正勧告

## 県立中央病院に報告準備し改善中 労働基準監督署

県立中央病院（宮田剛院長、盛岡市上田一丁目）が4月に盛岡労働基準監督署からは是正勧告を受けていたことが、盛岡タイムスの取材で分かった。労使間で時間外労働などについて交わす、いわゆる「36協定」違反など労働基準法違反の他、労働安全衛生法上の不備な6項目について勧告された。中央病院は現在業務改善に取り組み、労基署の求めに応じて今月20日が期限の是正報告の提出準備をしている。

した。医師数が必ずしも充て足していない中、県内の医療応援の他、中央病院自体の救急対応や医療サービスの提供・維持、職場改善が求められている。医療局の三田地好文職員課総括課長は「いわゆる36協定違反の他、労働安全衛生法上の不備な6項目について勧告された。中央病院は現在業務改善に取り組み、労基署の求めに応じて今月20日が期限の是正報告の提出準備をしている。」

認め中央病院の相談にに応じている。病院側の対応を見守り、必要があれば他の県立病院の改善に向けた「一話して」。勧告は4月16日付。中央病院は初めて勧告を受けた。2017年3月に労基署の立ち入り調査を受け、協定や勤務実績報告書、就業規則などについて調べを受けた。17年度中に追加資料の提供依頼も受けた。

県医療局と中央病院による「勧告内容」は医師を含む全職員へ個別に出勤簿の写しに各日の始業・終業時間を手書きで記入してもらい、労働時間の把握に努めている。衛生管理者は院長が務め、宮田院長の4月就任に伴う異動届がなかったと指摘された。衛生工学衛生管理者はレントゲンなどを扱う一定規模以上の事業所



勧告を受け、是正報告や改善に向けて取り組んでいる県立中央病院

【是正勧告】労基署による立ち入り調査（臨検）やその他の簡易な調査を経て行われる。社会的影響の大きい大企業などを除き、勧告された事業所名は非公表。事業所へ是正報告を求める場合は行政指導として罰則・罰金はなく、法的拘束力もないが、悪質だと書類送検されるケースなどがある。

# 是正勧告内容と対応

- 始業・終業時刻の適正な把握
  - 押印のみの出勤簿から時刻記入方式 → ICタイムカードに変更
- 3 6 協定特別条項適用時の事前通告
  - 過半数代表者への通告開始
- 長時間労働の発生原因分析と再発防止対策の策定と実施
  - 病院プロジェクトの策定
- 休日労働は原則月二回以内
  - 当直表作成の見直し
- 臨床工学技士の院内待機への賃金
  - 手待ち時間手当支給
- 医師の割り増し賃金の基礎賃金に初任給調整手当を算入
  - 医療局として算出方法変更
- 衛生管理者および産業医の選任と届け出
  - 届け出実施
- 衛生工学衛生管理者の選任
  - 資格取得者選任



溢れる業務量  
連携不全のいらだち やり甲斐を超える疲労感

現状の問題解決を目指した  
7つのプロジェクト(2018)

意欲も実力もある医師を育成し、  
当地の医療を守る**安定的医師確保プロジェクト**

1

**総合診療・救急医療プロジェクト**

「それはうちじゃない」を禁句とする  
generalist mind育成プロジェクト

2

**業務簡素化（効率化）プロジェクト**

楽（らく）して最大限の成果を得る  
仕事の仕方プロジェクト

3

盛岡医療圏全体を「ひとつの病院」と考えられるくらいに  
**強力な地域連携を構築するプロジェクト**

4

**情報発信・受信プロジェクト**

当院の魅力と問題点を深く知り、  
周囲に対しても良い部分をきちんと  
アピールするプロジェクト

5

**やる気の起きる臨床指標創出プロジェクト**

6

**未来の中央病院構想プロジェクト**

ハードもソフトも含めて将来「こんな病院を作るべき」、「こんな病院は作るべきでない」を明確化していくプロジェクト

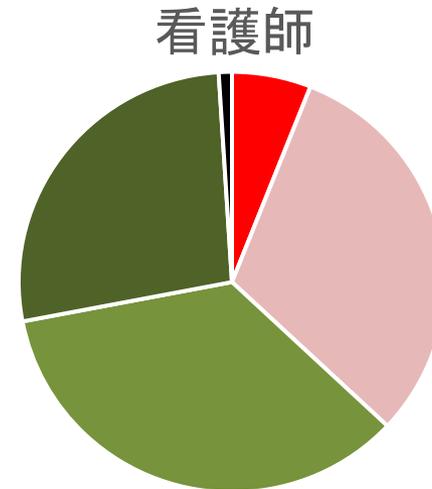
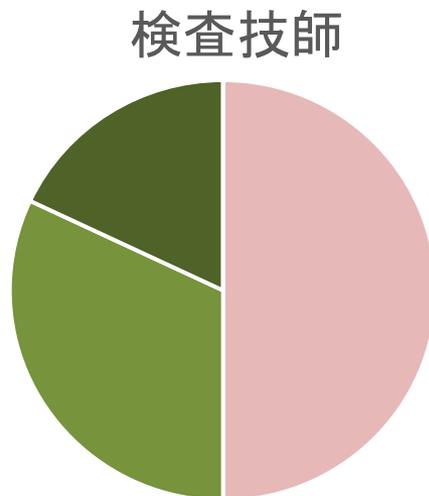
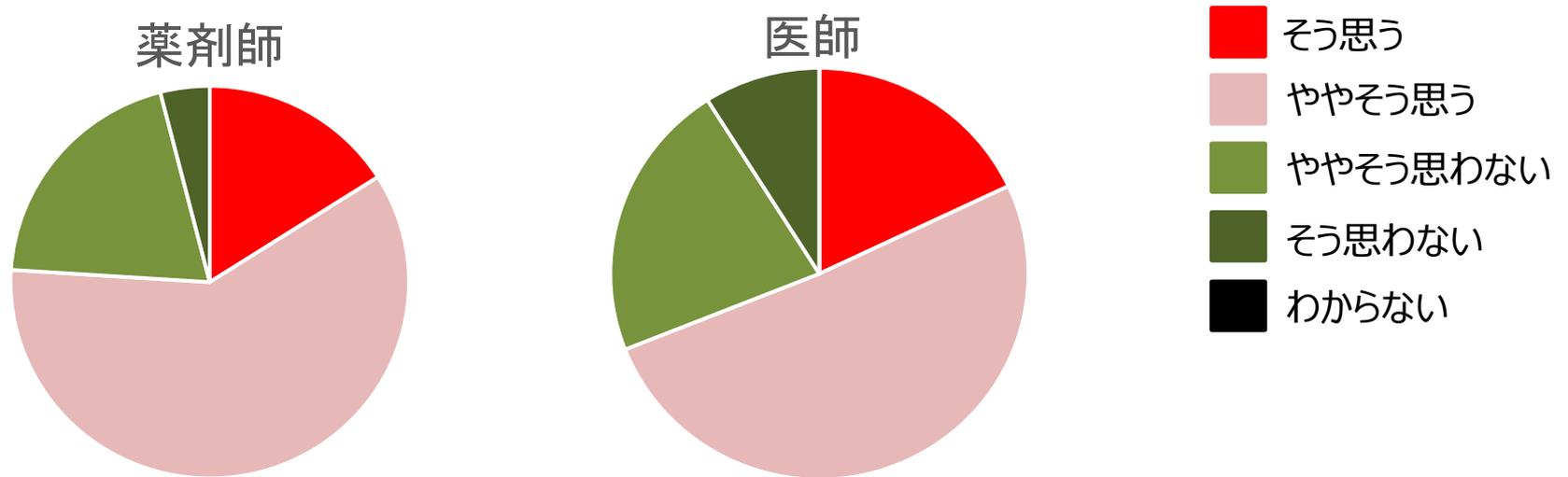
7

# 当院の働き方改革取り組み

- 2018年度：労働基準監督署から是正勧告
  - 病院全体での改善プロジェクト
    - 医師確保、総合診療科創設、業務簡素化（効率化）、地域連携、情報発信・受信、やる気の起きる臨床指標、未来の病院
- 2020年度：看護師の働き方改革
  - コンサルタント介入（モデル病院として県医療局が予算をつけてくれた）
  - タイムスタディ（ワンデイ調査）を元に、改革の必要な業務、部署を洗い出し、病院全体の視点で、効率化可能な業務を割り出す
- 2021年度：医師の働き方改革
  - コンサルタント介入（モデル病院として県医療局が予算をつけてくれた）
  - タイムスタディ（1W自記入アンケート）を元に、超過勤務の実態と効率化可能な業務を洗い出す

# 2018職員満足度調査

## Q: 現在の働き方に満足していますか？

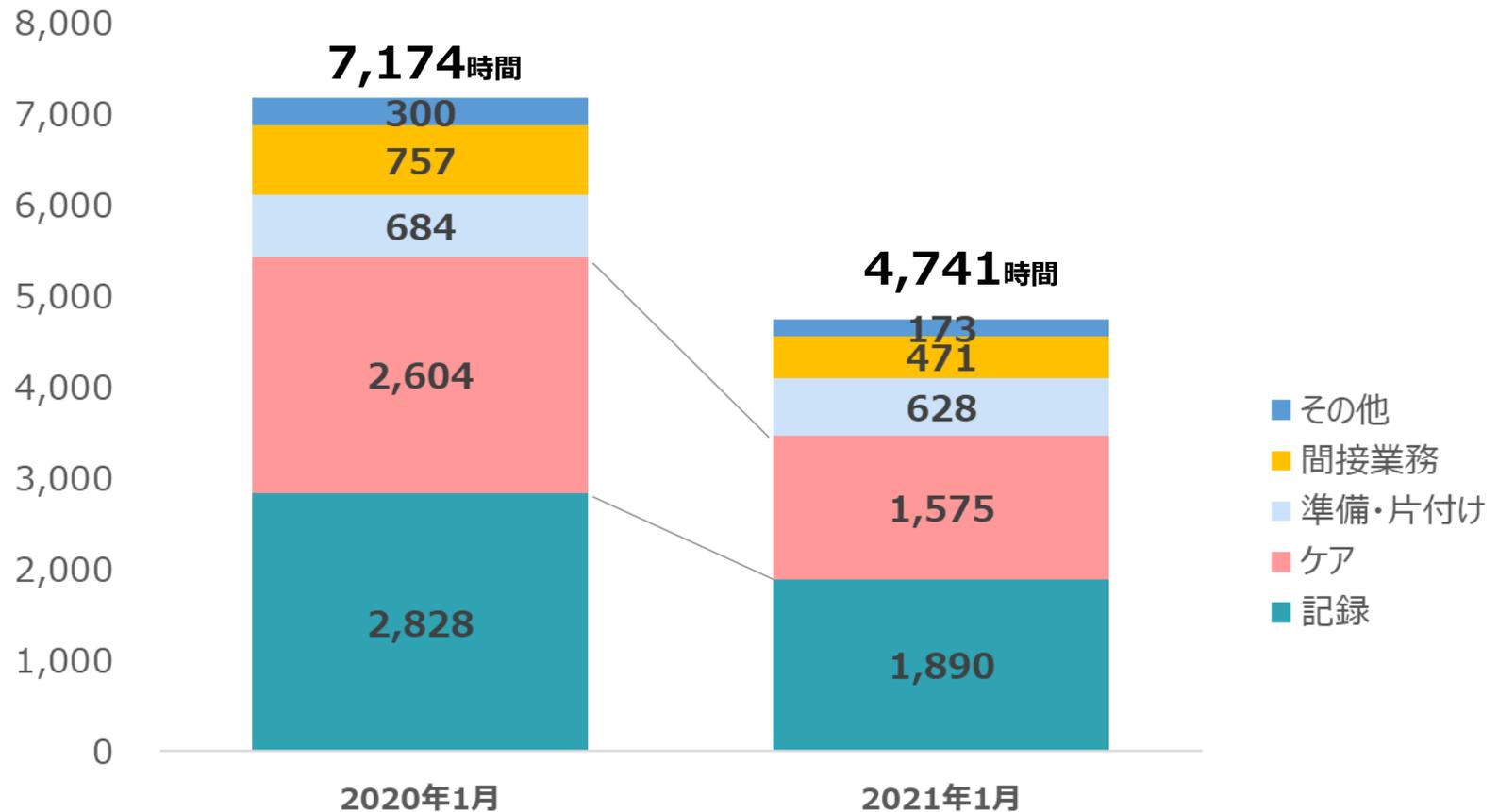


62%が否定的

# 看護師の働き方改革2020

- コンサルティング会社の介入(医療局予算)
- タイムスタディ(特定病棟のみ)での実態把握
  - シャドウイングによる調査、アンケート、ヒアリング
- 課題抽出→改善案作成
  - 看護記録のセット化
  - **始業前の情報収集改善**
  - 定期処方検討
  - **患者搬送ルール見直し**
  - **シーツ交換の外部委託**
  - **面会ルール見直し**
  - 会議、研修会の見直し
  - 救急カートの点検頻度検討
  - オーダー時間の周知徹底
  - 学生指導の担当者固定
  - 電子カルテ用PC端末配備数増加
  - **入院案内等の動画化**
  - 配薬業務の見直し
  - 電話対応の整理
  - 看護記録基準の見直し
  - 書類準備の簡略化
  - 内服指示箋の電子化

## 全部署の日勤帯の超過勤務申請の内訳



★ 前年同月比で、記録・ケアともに各**1,000**時間程度の減少

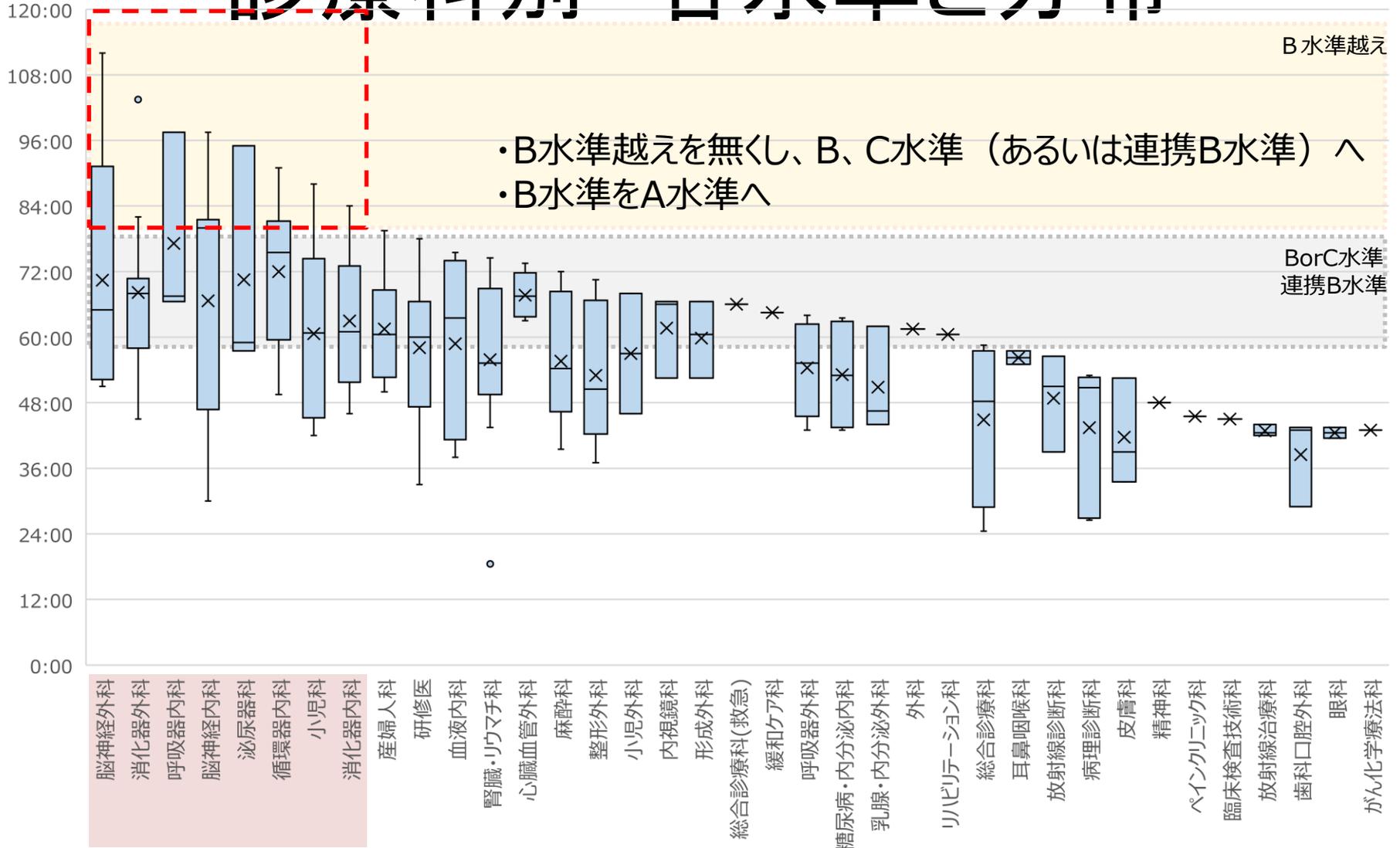
# 医師の働き方改革2021

看護師とは違う  
意識改革が必要！

- コンサルティング会社の介入(医療局予算)
- タイムスタディ(医師全員)での実態把握
  - 自記入方式
- 課題抽出→改善案作成(現在進行中)
  - 週一日の公休取得の徹底(チーム制の検討)
  - 祝日夜間の対応ルールの検討(チーム制の検討)
  - ICU当直の宿日直許可申請の検討
  - 救急当直の割り当て配分の再検討
  - 外勤先の宿日直許可申請状況の確認と取扱い見直し
  - B水準医師に対する追加的健康確保措置の検討

# 診療科別 各水準と分布

週の労働時間



制度説明用のYoutube動画(15分間)

R6 (2024) 年度から施行となる医師の働き方改革実施に向けて

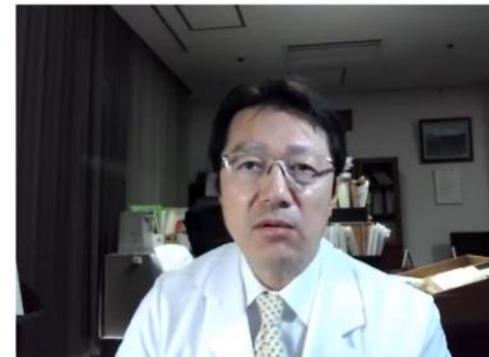
**岩手県立中央病院の医師に  
これだけは知ってもらいたい！  
とりあえずここから始めてもらいたい！**

**「休み方改革」編**



岩手県立中央病院

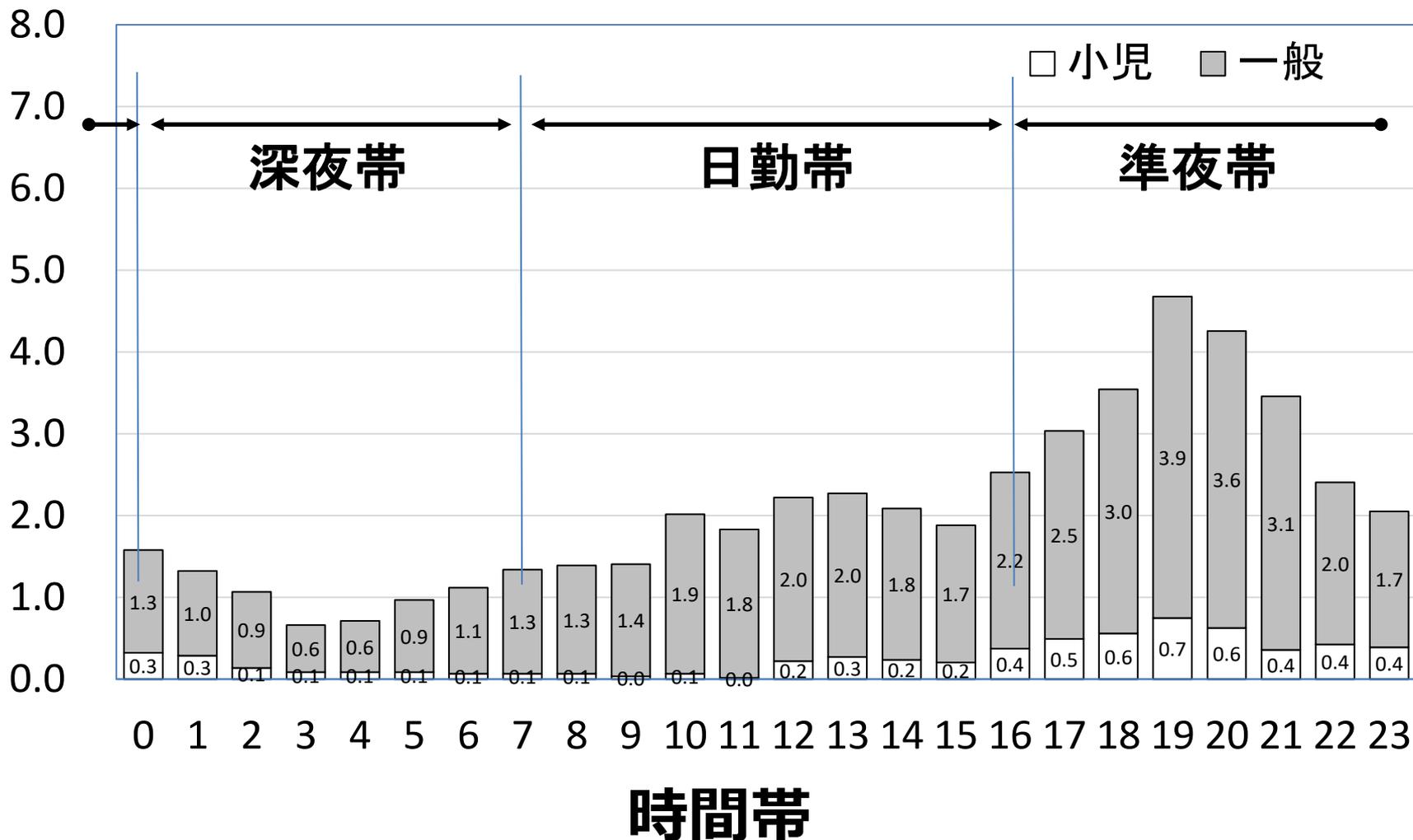
院長 宮田 剛



# 平日時間帯別救急患者数

人

平成30年1月から3月の平均

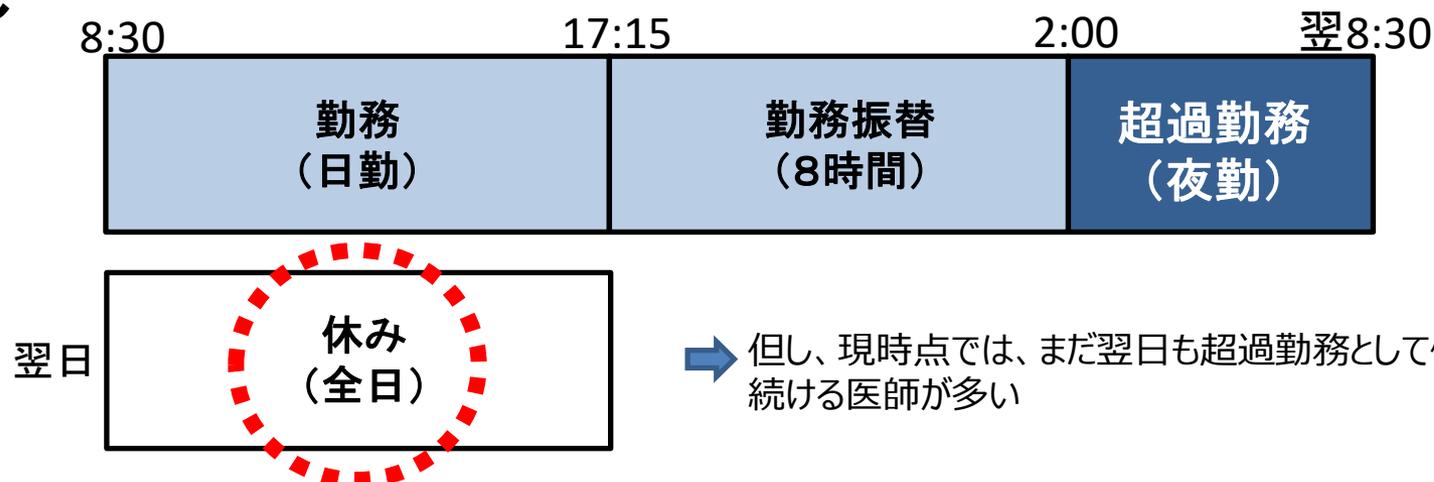


# 救急当番医師は、翌日しっかり休ませる (勤務インターバル確保)

～2021/4



2021/5～



# 医師事務作業補助者

- H20年に10名雇用。以後増員して、現在57名
- 離職を防ぐ研修期間とステップアップ研修
- 各診療科のクランク必要度を分析し、ローテーション

## 入院前支援体制

# 総合診療内科の成果

「夜間休日は何でも受けます。但し、治療方針が決まった段階で、平日日中には引き取ってください」  
尿路感染用、肺炎用の地域連携パス作成

尿路感染	対象患者数 (人)	平均年齢 (歳)	パス適応 (人)	平均在院日数 (日)	
				対象患者 全体	パス適応 患者
令和2年度	288	81.7	25	13.8	<b>6.9</b>
令和元年度	277	81.1	7	12.8	12.4

急性肺炎	対象患者数 (人)	平均年齢 (歳)	パス適応 (人)	平均在院日数 (日)	
				対象患者 全体	パス適応 患者
令和2年度	366	82.2	43	16.3	<b>7.5</b>
令和元年度	480	82.5	48	18	<b>7.6</b>

## 「医師の働き方改革」法制化に伴う県立中央病院からのお願い

2021年5月21日に「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が成立しました。医療者の過労を減らして、患者さんに良質な医療を提供するための法律で、遵守しなければ病院に罰則が科せられます。

当院でも多くの医師が限界を超えるような時間外勤務を行っています。院内でも業務改革を進めていますが、医師不足の岩手県では患者さんのご協力が必要です。

上記事情をご理解いただき、下記の事項につきご協力いただければ幸いです。

1. 高度医療、救急医療を担う当院の位置づけをご理解いただき、緊急性がない場合は、近隣開業医の紹介状とともに平日の一般外来受診をお願いします。
2. 急病・重症患者さんの治療を行うため、症状が安定した患者さんはかかりつけ医（近隣の開業医等）への紹介にご理解、ご協力をお願いします。
3. 入院患者さんの対応はグループ診療制のため、必ずしも主治医ではない当番医が対応することがありますのでご了承ください。
4. 病状説明などは、通常勤務時間内（平日8：30-17：15）をお願いします。

患者さん、ご家族様にはご不便をおかけいたしますが、良質な医療体制を維持するため、何卒ご協力のほどよろしく申し上げます。

2021年9月

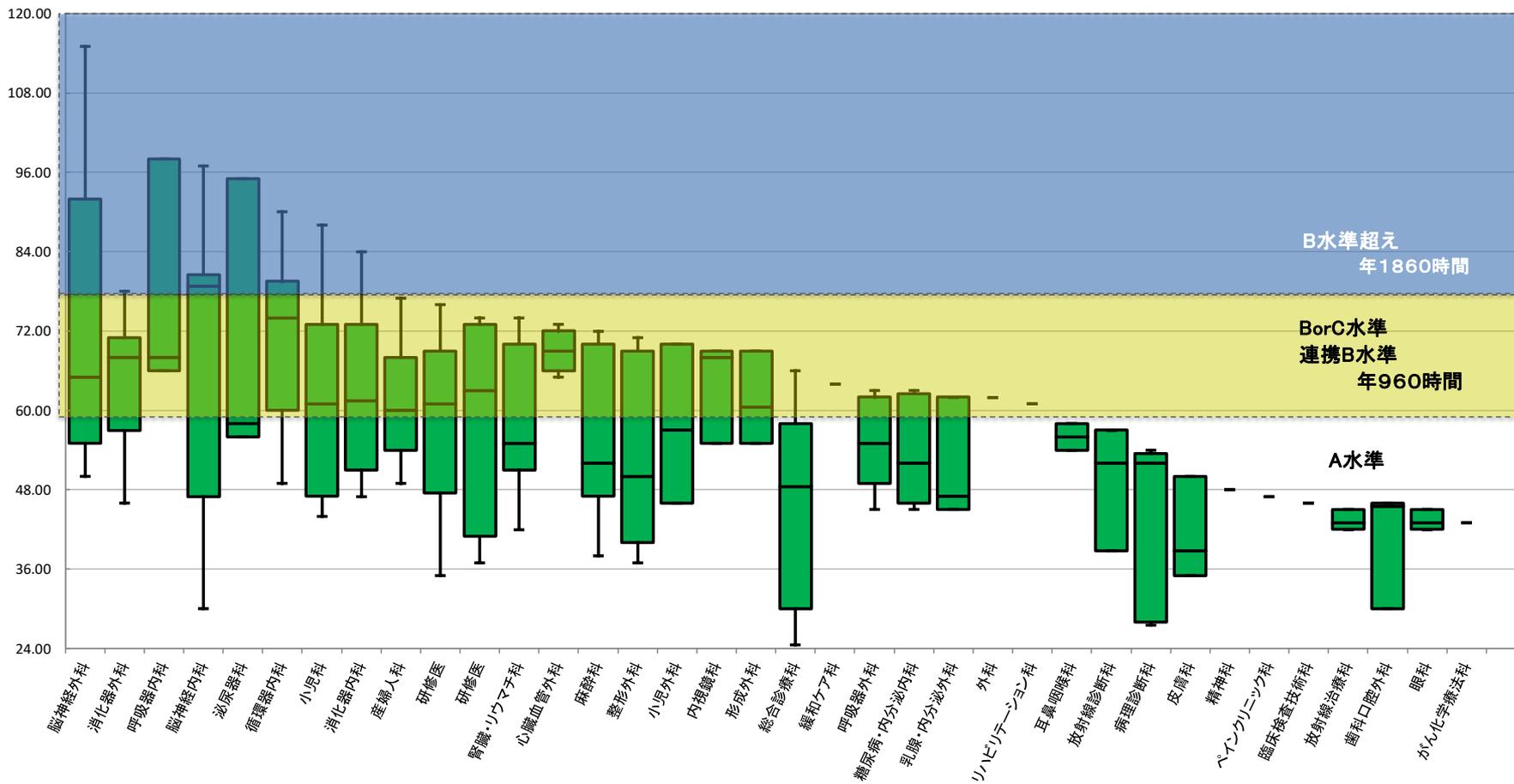
岩手県立中央病院  
病院長 宮田 剛



# 取組前(令和3年4月)

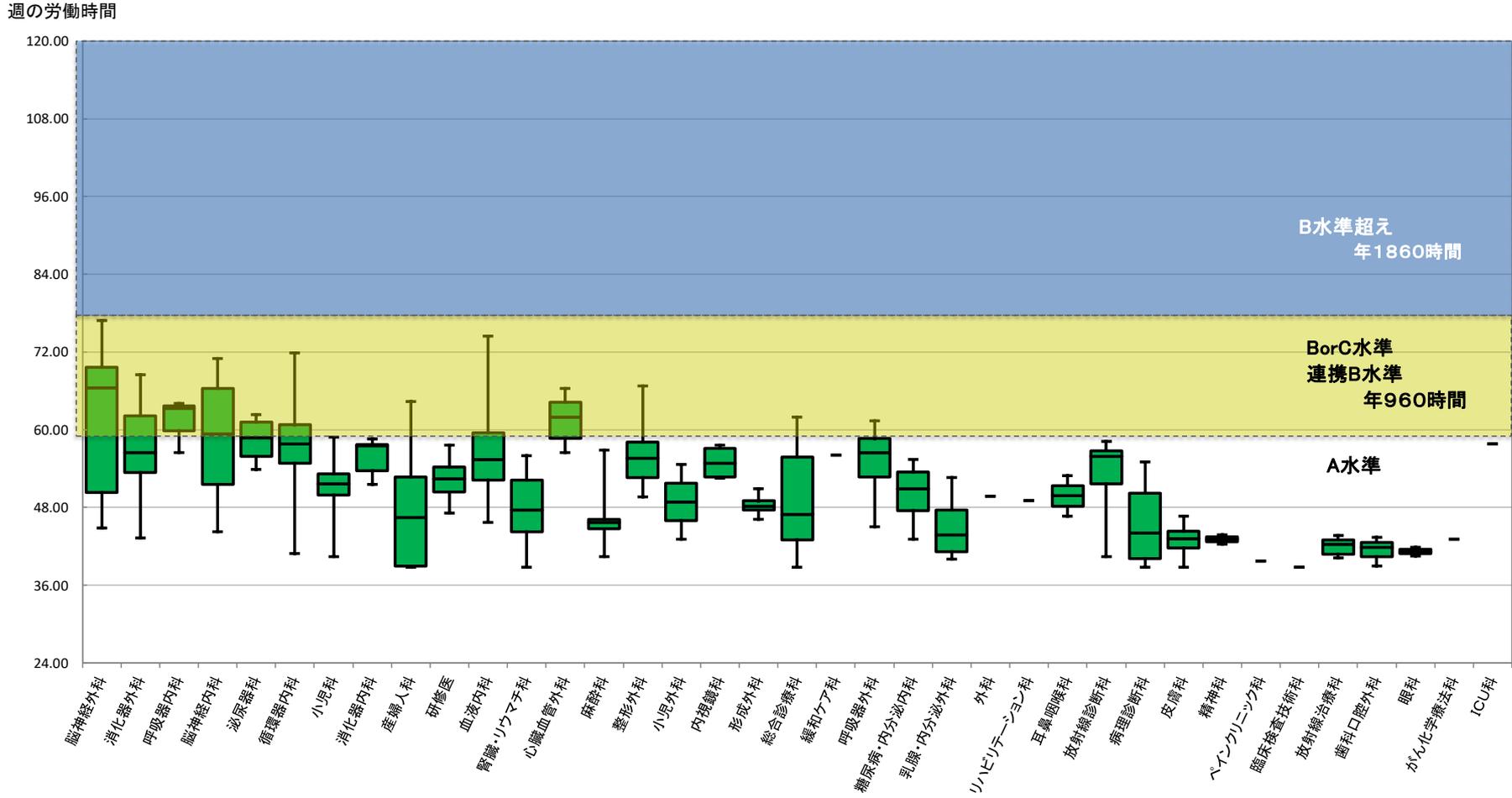
診療科別 各水準と推移 (令和3年4月実績) ※R3にハイズが実施した勤務実態調査結果より

週の労働時間



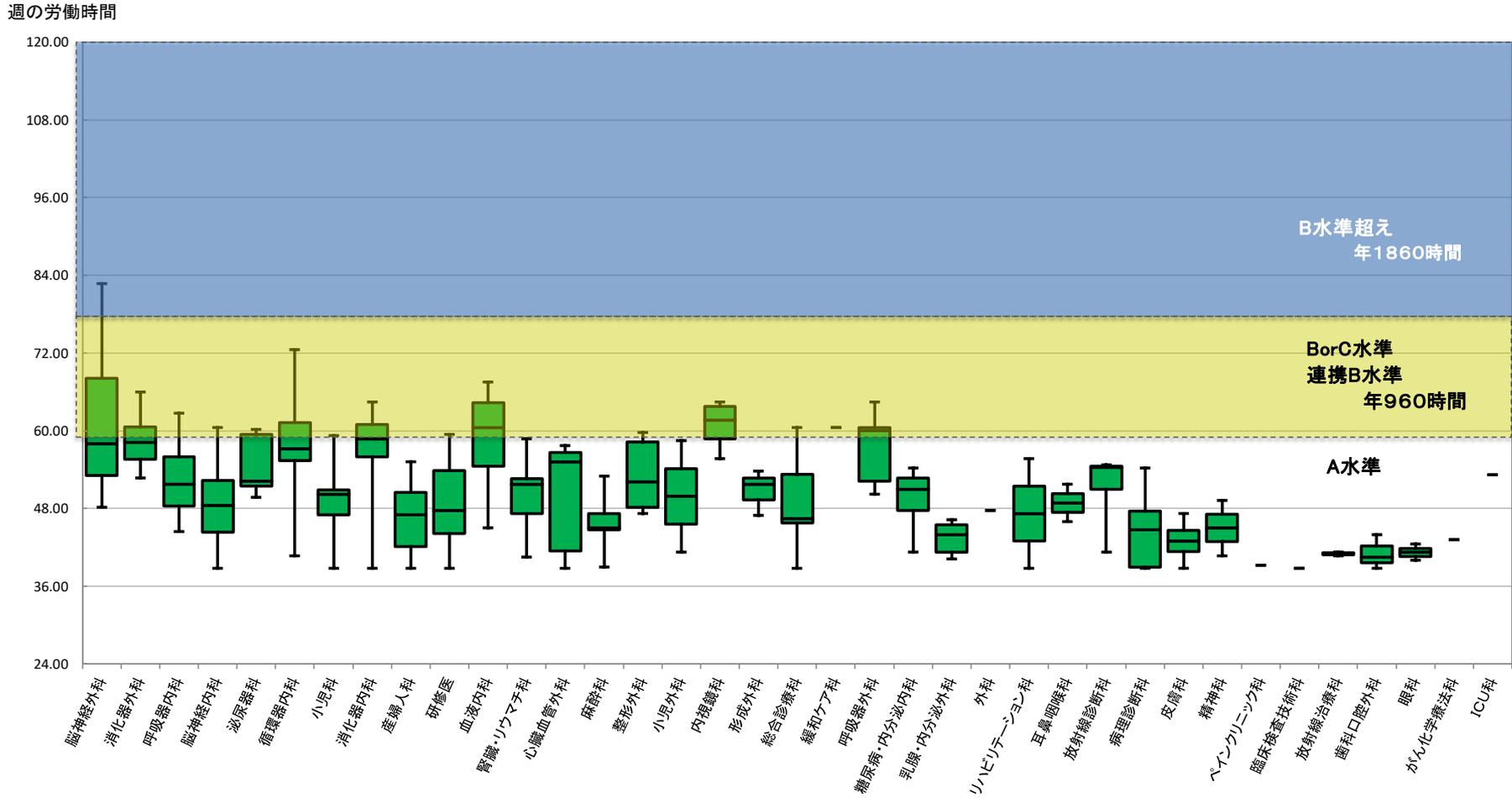
# 令和4年一年間の実績平均

診療科別 各水準と分布 (令和4年度実績) ※勤務管理システムより



# 令和5年4月実績

診療科別 各水準と分布 (令和5年4月実績) ※勤務管理システムより



## 医師の働き方改革

# 岩手県立中央病院の取り組み

- 当院の問題点
  - 医師不足県、県立病院群等への診療応援、救急の集中
- 改革と成果
  - 勤怠管理ICカードシステム導入 → 労働の可視化
  - Youtube動画配信、自己研鑽規定掲示 → 制度の理解
  - コンサルタント介入 → 無駄の洗い出し
  - 肺炎パス・尿路感染パス → 在院日数短縮による労働  
負荷軽減
  - クラークの歴史、入院前支援件数、幹部メール配信、勤務間インターバル、患者へのお願い
- 今後の課題
  - 機能分化（特化）と地域医療機関とのさらなる連携強化
  - スマートフォン導入による情報共有促進